

ファーストリテイリンググループ 責任ある紙の調達方針

株式会社ファーストリテイリングとその傘下のユニクロおよびその他の各ブランドは、持続可能な社会の構築をめざしています。事業活動により国内外の森林減少・劣化を招くことがないよう、紙の調達に関して、原産地の森林破壊ゼロを支持します。また、紙の使用量を節減するとともに、森林資源の持続可能な利用と生物多様性の保全の観点から、2020年に「責任ある紙の調達方針」を策定しました。

1. 基本方針

ファーストリテイリングが事業活動で使用するすべての紙製品の調達にあたっては、適切な調達先からの調達であること（※）を前提として、以下の要件を満たす紙製品を優先的に調達します。

- ・ リサイクル原料含有率の高いリサイクル紙
- ・ 原料となる木材の伐採時に環境面・社会面の観点から持続可能とみなされる、第三者が認証した紙 FSC®（Forest Stewardship Council: 森林管理協議会）の認証を取得した紙
- ・ FSC®の管理木材（Controlled Wood）*1を原料とする紙

※適切な調達先からの調達とは、以下を満たすことを指します。

- ・ 紙製品の原料となる木材の伐採にあたって、原木の生産される国または地域における森林に関する法令に照らし、適切な手続きで生産された紙であること
- ・ 「保護価値の高い地域（HCV）」*2および「高炭素蓄積地（HCS）」を破壊していないこと
- ・ 森林の利用にあたって先住民族や地域住民の権利が尊重され、事前の情報提供に基づく、自由意思による合意形成（FPIC）が尊重されていること
- ・ 原料調達や企業活動において、重大な環境・社会的問題に関わる事業者の製品ではないこと

*1 以下 FSC が容認しない5つのカテゴリーに分類されない木材

1. 違法に伐採された木材
2. 伝統的権利、人権を侵害して伐採された木材
3. 高い保護価値を有し、その価値が施業活動によって脅かされている森林で伐採された木材
4. 天然林の転換を目的とした伐採によって搬出された木材
5. 遺伝子組み換え樹木が植えられたエリアから伐採された木材

*2 森林のなかでも社会的、文化的、環境的に特に保護すべき価値のある森林など

2. アクションプランおよびその進捗状況

上記基本方針に基づき、2020年4月、株式会社ファーストリテイリングとその傘下のブランドにおいて、ショッピングバッグは2020年末までに、その他の事業活動に関連する紙製品については、可能な限り2022年末までに、基本方針に沿った素材に変更する旨のアクションプランを定めました。

2023年12月末時点では、ショッピングバッグなど日本国内で調達する紙製品は上記基本方針に則り、可能な限り基本方針に記載の要件を満たす紙素材に変更しました。海外における調達については、上記

基本方針に則った調達が困難な地域もあるため、継続的に取り組みを推進しています。
また、ユニクロでは、電子レシートを導入し、ペーパーレス化を積極的に推進しています。

なお、紙製品を含む資材の調達については、使い捨てプラスチックが最重要課題であるため、現在プラスチックを含む資材の調達方針の策定に取り組んでいます。

3. 取り組みの姿勢

- ・ 本方針は定期的に内容の見直しを行います。
- ・ 引き続き、本方針に合致する紙の調達に向けて、取引先、社外有識者、NGO、認識を共有する他企業などの関係者と情報交換をするとともに、必要な働きかけ、協力を行います。
- ・ 本方針に合致する紙の調達を確実にを行うため、アクションプランを策定するとともに、適時情報公開を行います。
- ・ サプライヤーにおいて、上記の基本方針に違反する行為が判明した場合は、透明かつ説明責任を果たすことのできる、合意に基づくプロセスにより、解決・是正することを求めます。